

青年部活動の歴史

1999年

会長 江戸 雅夫

【役員】	
会長	江戸 雅夫
副会長	真田 和夫・村上 直揮
理事	舂田 勝人・鈴木 康伸 吉田 純一・辻本 哲也 高梨 浩志・澤井 篤司
監事	越後谷厚史・吉田 清治
特別理事	田下 啓一
事業委員長	澤井 篤司
事業副委員長	高梨 浩志
総務委員長	辻本 哲也
総務副委員長	舂田 勝人
IN委員長	鈴木 康伸
IN副委員長	越後谷厚史

【活動記録】

- 04月／第9回通常会員総会
- 05月／「エア・ドウの企業戦略」
- 06月／「美サイクル館視察」
- 06月／「議会傍聴(1)～(2)」留萌市議会
- 06月／「市政討論会」
留萌市議会議員：道・二ノ宮・石塚議員
- 07月／青年部北海道ブロック交流会（遠軽町）
- 07月／「起業の必要な法律・税務知識」
- 08月／夕日鑑賞家族会（黄金岬）
- 09月／青年部ホームページ開設
(URL:http://www.hokkai.or.jp/~rumoiyeg/)
- 09月／北海道ブロック大会参加（釧路市）
- 09月／小樽商業地視察
(小樽商工会議所、小樽市商店街)
- 10月／「留萌港貿易の現状と展望」
- 11月／「笑いがもたらすリーダーシップ」
- 12月／第4回三市町青年部交流会（留萌幹事）
- 02月／新年会
- 03月／10周年記念実行委員会設立
- 03月／第3回卒業祝賀会



2000年

4代目会長

村上 直揮



平成3年に28名の会員から始まったこの留萌YEGも、平成12年には41名体制の若手経営者集団となり記念すべき設立10周年を迎え、第4代会長に村上直揮氏が就任し2年後の北海道ブロック大会の留萌誘致を所信表明、また、青年部設立10周年記念式典において青年部が提言組織として活動を深めていってほしいとの各界からの要望を再確認し、マチの基本計画を考える策定委員に青年部メンバーを送り込み、青年部メンバーが各策定会議の中心的ポストを担うことを使命とし留萌のマチづくり計画に対し具体的知識を積み上げ3年にわたり大きく貢献した。

【役員】

会長	村上 直揮
副会長	鈴木 康伸・澤井 篤司
理事	鉢呂 良一・平岩 隆 宮尾幸之助・森本 隆志 松本 衆司
監事	鵜城 善輝・佐々木博史
特別理事	江戸 雅夫
事業委員長	森本 隆志
事業副委員長	鵜城 善輝
総務委員長	平岩 隆
総務副委員長	佐々木博史
広報委員長	鉢呂 良一
広報副委員長	澤田 知明

【活動記録】

- 04月／第10回通常会員総会
- 06月／設立10周年記念式典
- 06月／会員講師研修「留萌再興を考える」
- 07月／「インターネットビジネス活用」
- 08月／夕日鑑賞家族会（黄金岬）
- 09年／留萌商工会議所中心市街地活性化特別委員会へ鈴木、澤井副会長派遣
- 09月／「都市計画って何だろう」
- 10月／「石狩新港」視察研修
- 11月／第4回三市町青年部交流会（増毛町）
- 11月／「ホームページ作成講座①～④」
- 02月／「経理お助け帳/税務調査対策」
- 03月／「いい経営者の道しるべ」



2001年

会長 村上直揮

『動乱の波が押し寄せる世紀末』

スローガン：若さを武器に何事にも恐れないう行動こそ地域に望まれる青年経営人の姿である

平成13年、企業のIT化が押し寄せる波のように進む中、時代に先駆けるべくIT関連の研修を行った。携帯電話を使ってインターネットの世界での店舗を活用し、よりわが街・特産品を全国に紹介する手法を学んだ。翌年に迫ったブロック大会開催にあたり、おおむねの計画案が村上会長により青年部会員に示唆され、全員一致の協力体制で実行委員会を設立することも決定された。

躍動感を失いつつある中心街再興を図るべく昨年からは活性化特別委員会のメンバーである澤井副会長より、シリーズ2回目となる「留萌再興を考える②」をテーマとした会員講習が行われた。「公の目を持ち、多角的視野から明日の留萌を考慮することが必要である。留萌は今、重大な岐路に立っている。今後5年以内に3つの大きな危機、中心部の急激な資産（土地）デフレ、中心市街地の加速度的な空洞化、そして重大な市財政問題が起こるだろう。この地で今後中核を担う我々若手経済人がオピニオンリーダーとなり、対策と経済ビジョンを明確に示していけばまちの再興は可能だ」と説く。

一方、留萌市港湾振興室の笹島氏を招き、国の重要港湾である留萌港の役割とフェリー推進計画案を検証した。長年凍結されてきた、ペイオフ制度がついに解禁になるということで企業家としても、決して無視できないこの制度を再度見直し、ペイオフ解禁の実情を、北洋銀行留萌支店の石井支店長に講演をいただいた。「金融機関は破綻しない」という大多数の誤った見識のもと平成9年に事実上破綻した拓銀を例にとり、その中小企業に与える影響についても学んだ。



【役員】

会長	村上 直揮
副会長	澤井 篤司・鈴木 康伸
理事	鉢呂 良一・平岩 隆 宮尾幸之助・森本 隆志 松本 衆司
監事	鵜城 善輝・佐々木博史
特別理事	江戸 雅夫
事業委員長	鵜城 善輝
事業副委員長	平岩 隆・久保田慎太郎
総務委員長	昆 多利
総務副委員長	宮尾幸之助・村田 竜志
広報委員長	長内 敬憲
広報副委員長	森本 隆志・澤田 知明

【活動記録】

- 03月／地域活性化フォーラム（美瑛市）
- 04月／第11回通常会員総会
- 05月／「留萌市の財政事情」
- 06月／「携帯電話をネットショップ活用する方法」
- 07月／青年部道北協議会「IT研修・オリエンテーション」 滝川市 ホテルスエヒロにて
- 08月／留萌呑涛まつり
- 08月／夕日鑑賞会家族会（黄金岬）
- 08月／北海道ブロック大会参加（深川市）
- 09月／「翌年のブロック大会開催に向けて」
- 10月／道北協議会「物産フェア・交流会」（上砂川）
- 11月／「留萌港フェリー就航について」
- 11月／第6回三市町青年部交流会（小平町）
- 11月／家族忘年会
- 02月／法人会青年部との合同新年会
- 03月／「いよいよペイオフ解禁！預金保険制度について」
- 03月／第5回卒業祝賀会



青年部活動の歴史

2002年

会長 村上直揮

『勇気・チャレンジ・実践』

「北海道ブロック大会留萌大会」の開催を迎えた平成14年度。江戸雅夫氏を実行委員長とする特別委員会を組織し、ブロック大会準備は着々と進められた。これに平行して、留萌YEGより初めて澤井副会長が北海道商工会議所青年部連合会（道青連）に出向し大会PRと共に活動範囲を道北ブロックそして北海道に拡げていった。

9月には設立からの留萌YEG活動の集大成とも言える「北海道ブロック大会留萌大会」が開催された。

全国全道から約300名にわたる参加者を得、厳粛なる式典、北大教授の山口氏による記念講演、熱気溢れる交流会が開催された。留萌の幸をふんだんに使った祝宴料理、翌日の留萌探索ツアー（分科会）、最終日の道青連会長を囲む会。一連を通して各参加者から、留萌メンバーの溢れるホスピタリティーと大会完成度に感嘆の声あがった。

設立から12年目。当初は賛否両論あったブロック大会開会招致も、メンバー皆の理解と努力、そして団結を持って成功裏に終わることができ、留萌YEGのエネルギーを全国に示すこととなった。

村上会長の言う「勇気・チャレンジ・実践」は今後のYEG活動に大きな果実を残し、留萌YEG活動に見事な一区切りをつけた。

尚、この年より、次世代リーダーの育成と道青連への積極的な参加による会長負担軽減のため、会長任期を2年から1年（3期まで再任可）に改正。更なる組織内活性化に向かうべく舵が取られた。



【役員】

会長	村上 直揮
副会長	澤井 篤司・鈴木 康伸
理事	舛田 勝人・関口 秀二
	佐々木博史・鉢呂 良一
	辻本 哲也・平岩 隆
	宮尾幸之助・森本 隆志
	昆 多利・松本 衆司
	長内 敬憲
監事	林 文男・鶴城 善輝
特別理事	江戸 雅夫
事業委員長	松本 衆司
事業副委員長	久保田慎太郎
総務委員長	宮尾幸之助
総務副委員長	佐々木博史
広報委員長	長内 敬憲
広報副委員長	森本 隆志
ブロック大会委員長	江戸 雅夫
ブロック大会副委員長	澤井 篤司

【活動記録】

- 04月／第12回通常会員総会
- 04月／澤井篤司副会長 道青連出向
「道青連副会長、道北協議会会長 就任」
- 06月／道北協議会「歌志内エコバレー」視察
「リサイクル発電事業と環境事業」
- 07月／道北協議会（留萌開催）
- 08月／留萌呑涛まつり参加
- 09月／「北海道ブロック大会留萌大会」約300名参加
記念講演会主催
「21世紀の北海道ビジョン 山口二郎 北大教授」
- 09月／夕日鑑賞家族会（黄金岬）
- 10月／道北協議会事業「赤平物産展」に出店参加
- 10月／留萌JC「他組織役員意見交換会」に澤井副
会長依頼参加
- 10月／留萌港視察「留萌港の未来を語る会」主催
- 11月／第7回三市町青年部交流会（留萌市）
- 02月／新年会（法人会青年部との合同）
- 02月／北日本精機視察
「ベアリング最新技術視察、芦別本社工場見学」

